

資料編

目次

資料編1市民アンケート票	資料編-1
資料編2事業者アンケート票	資料編-8
資料編3市民アンケート調査結果	資料編-14
資料編4事業者アンケート調査結果	資料編-38

資料編1

市民アンケート票

南陽市の環境エネルギーに関する市民アンケート（調査票）

●各項目、当てはまるものに○をつけていただき、必要に応じてご記入をお願いします。

●本調査票をご記入後、同封の返信用封筒に入れ、期日までにご投函ください。

■属性（回答者自身について）

Q1. はじめに、あなたご自身のことについて教えてください。

次の各項目について、当てはまるものをそれぞれ1つずつお選びいただき○をつけてください。

【性別】 男性 女性

【年齢】 あなたの年齢は満でいくつですか。

- 18～19歳 20～24歳 25～29歳
 30～34歳 35～39歳 40～44歳
 45～49歳 50～54歳 55～59歳
 60～64歳 65～69歳 70～74歳
 75～79歳 80歳以上

【職業】 次の中からお選びいただき、該当する①または②についてお答えください。

- 雇用者（役員を含む）：サラリーマン
 自営業主（家庭内職者を含む）
 家族従業者：家族企業の従事者
 無職（主婦、主夫、学生を含む）

—①（「雇用者（役員を含む）」／「自営業主（家庭内職者を含む）」／「家族従業者」と答えた方）
お仕事の内容を具体的に記入していただき、次の中から当てはまるものに○をつけてください。

[内容：]

- 管理職 専門・技術職 事務職
 販売・サービス・保安職 農林漁業職
 生産・輸送・建設・労務職

—②（「無職（主婦、主夫、学生を含む）」と答えた方）

次の中から当てはまるものに○をつけてください。

- 主婦 主夫 学生 上記以外の無職

【世帯人員】 同居しているご家族はあなたを含めて何人ですか。

- 1人 2人 3人 4人 5人以上

Q 3. 南陽市が令和2年12月23日、2050年までに二酸化炭素（CO₂）の排出量実質ゼロ※を
目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行ったことを知っていますか。

知っている 知らない

※日常生活や経済活動によって排出されるCO₂量を可能な限り削減したうえで、それでも排出さ
れるCO₂量は、森林などによって吸収されるCO₂量と同じ（±0）にすること。

現在（2021年9月30日時点）、日本全国で464の自治体が南陽市同様のゼロカーボンシ
ティ宣言を行っています。

Q 4. 政府が令和2年10月、2050年カーボンニュートラル※を宣言したことを知っていますか。

知っている 知らない

※南陽市のゼロカーボンシティ宣言と同様の内容です。

Q 5. 2050年には、人為起源のCO₂排出量を実質ゼロにする必要があるという科学的知見が示され
ていることを知っていますか。

知っている 知らない

2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、
「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排
出量を実質ゼロにする必要がある」と示されています。

■エネルギー資源について

Q 6. あなたが、現在関心のある南陽市の環境問題は何ですか。次の①～③それぞれについて、当ては
まるものを**2つずつ**お選びください。

—①地球温暖化・気候変動について

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 温室効果ガスを抑制すること | <input type="checkbox"/> 再生可能エネルギーの活用 |
| <input type="checkbox"/> 省エネ型家電や設備の導入 | <input type="checkbox"/> 豪雨など自然災害の多発 |
| <input type="checkbox"/> 温暖化による熱中症・感染症 | <input type="checkbox"/> 災害時の電気の確保 |
| <input type="checkbox"/> ほとんど関心がない | |

—②ごみの減量・資源化について

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ごみのリサイクル | <input type="checkbox"/> 再使用（リユース）のしくみ |
| <input type="checkbox"/> ごみ発生抑制（リデュース）のしくみ | <input type="checkbox"/> 食品ロス問題 |
| <input type="checkbox"/> プラスチックごみ問題 | <input type="checkbox"/> ポイ捨て・不法投棄 |
| <input type="checkbox"/> ほとんど関心がない | |

―③快適な生活環境や緑・水辺の保全について

- 河川・水路の水質保全対策 騒音や振動の発生
 住まい周辺での悪臭 田畑や水辺の自然環境の減少
 昆虫や野鳥等生きものの減少 外来種問題
 身近に生きものとふれあえる場の減少 ほとんど関心がない

―④今、お住まいの住宅を建てた時、省エネ性能や断熱性能が高くなるような検討をしましたか。

- はい いいえ

―⑤今、お住まいの住宅の断熱性能が高くなるように、窓を二重にしたり、天井や壁などに断熱材を追加したりすることで暖かくなり、省エネにもなりますが、このような断熱リフォームをやってみたいですか。

- はい いいえ

―⑥太陽光発電に対する南陽市の補助金があることを知っていますか。

- はい いいえ

―⑦薪ストーブ、ペレットストーブに対する南陽市の補助金があることを知っていますか。

- はい いいえ

―⑧リースなどを利用することで、太陽光発電を初期費用なしで設置する方法がありますが、このような方法で太陽光発電を導入したいと思いませんか。

- 思う 思わない

Q 7. 南陽市は、再生可能エネルギーの利活用を推進していると思いませんか。次の中から**1つだけ**お選びください。

- 強く推進している まあまあ推進しているほうだ
 あまりそう思わない 全く思わない
 全く思わないし不満だ 分からない

Q 8. あなたは、南陽市に再生可能エネルギーが普及することによって、どのような効果を期待しますか。(複数回答可)

- 地球環境の保全
 エネルギーの地産地消の実現
 災害時の非常用電源等としての利用
 子どもたちへの環境学習
 再生可能エネルギーに取り組む地域としての知名度の向上

- バイオマス発電や風力発電などを見に来る観光客の増大
- 生活の利便性の向上
- 地元雇用の拡大
- 再生可能エネルギー関連産業への好影響
- 再生可能エネルギー関連産業の立地
- 安全安心なエネルギーの確保
- 市内企業の再生可能エネルギー関連産業への業態転換
- 期待できない

■家庭で行う地球温暖化対策について

Q 9. 現在、照明器具・ランプには、従来の白熱電球などのほかに、省エネ性能に優れたLED照明などがあります。あなたのお宅の照明器具・ランプについて、次の中から最も近いものを1つだけお選びください。

- ほぼ全ての照明が、LED照明などである
- 半分くらいの照明が、LED照明などである
- 一部の照明が、LED照明などである
- ほぼ全ての照明が白熱電球などであり、LED照明などはない
- 分からない

Q 10. 現在使用している電化製品の使用年数を教えてください。

冷蔵庫 (年) ・ テレビ (年) ・ エアコン (年)

Q 11. お使いの電化製品や家庭用品を購入した際、省エネ性能などを確認して選ばれましたか。

冷蔵庫 : () 確認して選んだ () 確認せずに選んだ
 テレビ : () 確認して選んだ () 確認せずに選んだ
 エアコン : () 確認して選んだ () 確認せずに選んだ

Q 12. あなたは、冷蔵庫・テレビ・エアコンなどの電化製品や家庭用品の買換えや新規購入に関して、省エネ効果をどのように考えますか。次の中から最も近いものを1つだけお選びください。

- 買換えなどの時期を待たずに、積極的に省エネ効果の高い製品にする
- 買換えなどの際には、省エネ効果の高い製品を優先して選ぶ
- 買換えなどの際には、省エネ効果よりデザイン・機能などを優先して選ぶ
- 特にない

Q13. あなたのご家庭では、次に示すエネルギー等の導入について、どのように考えますか。それぞれについて、表の右の当てはまる欄を**1つ**お選びいただき○をつけてください。

エネルギー等	既に導入している	導入を検討している	条件次第で検討可能	導入は考えていない	分からない
太陽光発電システム					
太陽熱温水器システム					
家庭用蓄電池					
電動アシスト自転車					
電気自動車					
薪ストーブ					
ペレットストーブ					

Q14. あなたは、次に示す行動について、どのように考えますか。それぞれについて、表の右の当てはまる欄を**1つ**お選びいただき○をつけてください。

行動	既に実践している	していきたいと思っている	行動は変えられない	分からない
車の利用を控え、バスや自転車・徒歩で移動する				
車の利用時にはエコドライブを実践する				
地球温暖化防止に向けた取り組みや学びの場に参加する				
省エネ、省資源に配慮したライフスタイルへ転換する				

Q15. あなたは、電気の供給をうける電力会社を自由に選択することができますが、どのような電力会社を利用したいと思いますか。次の中から最も近いものを**1つだけ**お選びください。

- () 電気料金が多少高くなっても、再生可能エネルギーの比率がより高い電力会社に切り替えたい
- () 電気料金が変わらないなら、再生可能エネルギーの比率がより高い電力会社に切り替えたい
- () 電気料金が現状と同じくらいなら、今までどおり、火力（内燃力）発電を中心とするエネルギーの電力会社を利用する

Q16. あなたが南陽市に求める、環境やエネルギーのための施策等についてご意見やご要望などありましたら自由に記述してください。

例えば、環境に係るイベントの実施による啓発活動をもっと増やして欲しい など。

質問は以上です。ご協力誠にありがとうございました。

資料編2

事業者アンケート票

—③緑・水辺・快適な生活環境関連

- () 河川・水路の水質保全対策 () 騒音や振動の発生防止 () 悪臭の発生防止
 () 自然環境の減少 () 事業所の緑化 () 環境コミュニケーション

—④上記の他に関心が高い環境問題（関心のある問題を下の[]内に記入してください。）

[]

■貴事業所における環境マネジメントシステムなどの導入状況について

Q 3. 貴事業所に該当する内容がありましたら、○をつけてください。

- () 独自の環境マネジメントシステムを導入している
 () 導入していない
 () その他 []

■地球温暖化に関する設備等の取り組み状況と今後の取り組み意向について

Q 4. 次の①～③に示すそれぞれの項目について、表の右の当てはまる欄を **1つ** お選びいただき○をつけてください。

—①エネルギーの有効利用に向けて

	実施済み 維持管理	実施中 実施予定 今後拡大 予定	実施済み 今後、縮 小や中止 を予定	現状を 維持 今後、分か らない
L E D照明の導入				
断熱性能の高い壁・屋根・窓（二重、ペアガラス化・次世代の省エネ基準を満たす断熱材など）の利用				
事業所の Z E B（ゼロエネルギービル）化				
省エネ性能の高い冷暖房機器の導入				
省エネ性能の高い給湯器の導入				
業務使用機器の省エネ型への切り替え				
太陽光発電設備の導入				
バイオマスボイラーの導入				
蓄電設備の導入によるエネルギーの有効活用				
ガソリン車から次世代自動車※への切り替え				
エコドライブの奨励				
徒歩・自転車・公共交通による通勤の奨励				
製品の製造・流通・販売・廃棄等全体のCO ₂ 削減				
エネルギー使用量の記録				

※次世代自動車とは、明確な定義はありませんが、本調査においては次の自動車を指します。

(1)水素自動車など燃料電池車(F C V) (2)電気自動車(E V) (3)プラグインハイブリット車(P H V)

―②貴事業所ではエネルギー消費の削減目標を定めていますか。 ()はい ()いいえ
定めている場合は、その目標を記入して下さい。()

―③貴事業所ではCO₂の削減目標を定めていますか。 ()はい ()いいえ
定めている場合は、その目標を記入して下さい。()

―④気候変動の影響への対策について

	実施済み 維持管理	実施中 実施予定 今後拡大 予定	実施済み 今後、縮小 や中止を 予定	現状を維持 今後、分か らない
自然災害時における電力等エネルギーの確保				
記録的豪雨・暴風の発生に伴う災害・インフラ対策				
気温上昇や暑熱による従業員や来訪者への健康リスク対策				

―⑤上記の他に、導入している主要な取り組み (下の[]内に記入してください。)

Q 5. 再生可能エネルギー (特に太陽光発電の自家発電) の利活用について、次の中から1つお選びください。

- () 初期投資ゼロ円モデル※などを活用してさらに積極的に導入を考えていく
- () 税制優遇※などを活用してさらに積極的に導入を考えていく
- () 再生可能エネルギーを導入したいが具体的にどうしたらよいか分からない
- () 再生可能エネルギー導入は考えていない
- () 全く分からない

※初期投資ゼロ円モデルとは、電力の需要家が敷地や屋根などのスペースを、電力販売契約事業者に提供し、事業者が太陽光発電システムなどの発電設備の無償設置と運用・保守を行う方法やリース契約など。

※税制優遇とは、固定資産税に係る対象の償却資産の課税標準額を引き下げる制度。

Q 1 1. 電力会社の検討にあたり重視することはなんですか。(複数選択可)

() CO₂排出量の少ない電気を供給しているか

() 再生可能エネルギー由来の電気であるか

() 地域で発電された電気であるか

() 料金が安くなるか

() その他

[

]

Q 1 2. 本市が環境負荷の少ないまちづくりを進めていくうえで、貴事業所のご意見やご提案などが
ありましたら、下の [] 内に自由に記入してください。

[

]

質問は以上です。ご協力誠にありがとうございました。

資料編3

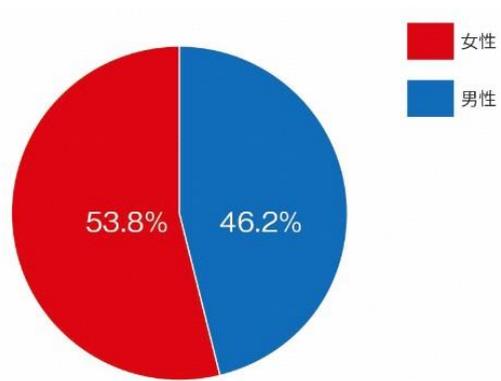
市民アンケート調査結果

■属性(回答者自身について)

Q1. はじめに、あなたご自身のことについて教えてください。

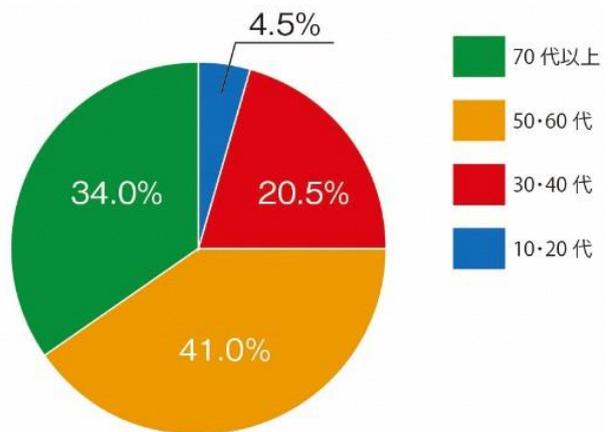
【性別】

回答項目	回答者数	構成比%
男性	362	46.2
女性	421	53.8
合計	783	100



【年齢】あなたの年齢は満でおいくつですか。

回答項目	回答者数	構成比%
18~19	0	0.0
20~24	12	1.5
25~29	23	2.9
30~34	27	3.4
35~39	36	4.6
40~44	42	5.4
45~49	55	7.0
50~54	70	8.9
55~59	75	9.6
60~64	74	9.5
65~69	102	13.0
70~74	122	15.6
75~79	108	13.8
80歳以上	37	4.7
合計	783	100



【職業】次の中からお選びいただき、該当する①または②についてお答えください。

回答項目	回答者数	構成比%
雇用者(役員含む)・サラリーマン	358	48.0
自営業主(家庭内職者を含む)	91	12.0
家族従業者：家族企業の従事者	32	4.0
無職(主婦・主夫・学生を含む)	268	36.0
合計	749	100



① 「雇用者(役員を含む)」/「自営業主(家庭内職者を含む)」/「家族従業者」と答えた方

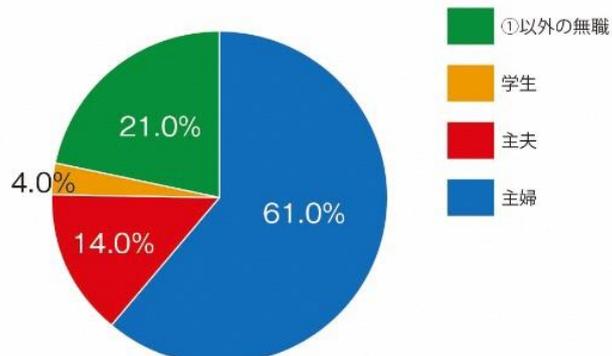
お仕事の内容を具体的に記入していただき、次の中から当てはまるものに○をつけてください。

回答項目	回答者数	構成比%
管理職	45	9.0
専門・技術職	134	27.0
事務職	76	16.0
販売・サービス・保安職	99	20.0
農林漁業職	54	11.0
生産・輸送・建設・労務職	82	17.0
合計	490	100



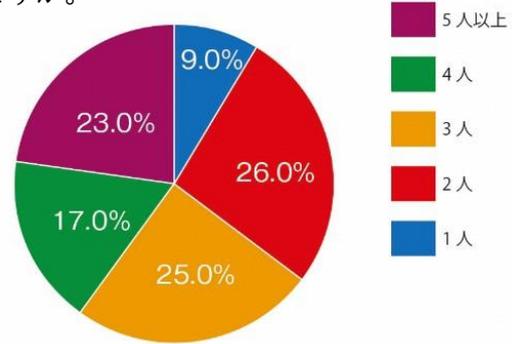
② 「無職(主婦、主夫、学生を含む)」と答えた方) 次の中から当てはまるものに○をつけてください。

回答項目	回答者数	構成比%
主婦	209	61.0
主夫	49	14.0
学生	10	4.0
①以外の無職	74	21.0
合計	342	100



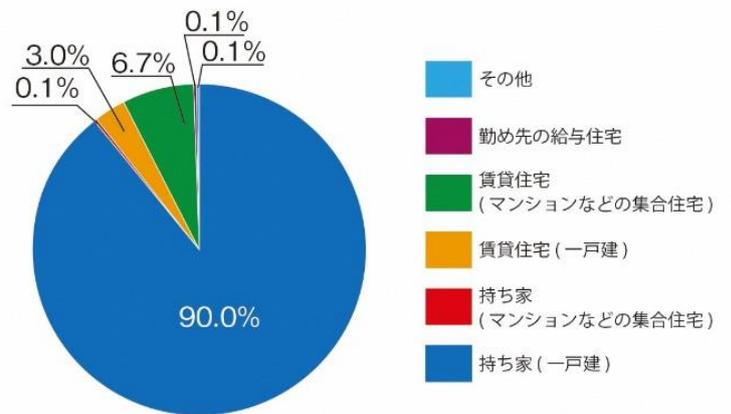
【世帯人員】同居しているご家族はあなたを含めて何人ですか。

回答項目	回答者数	構成比%
主婦	209	61.0
主夫	49	14.0
学生	10	4.0
①以外の無職	74	21.0
合計	342	100



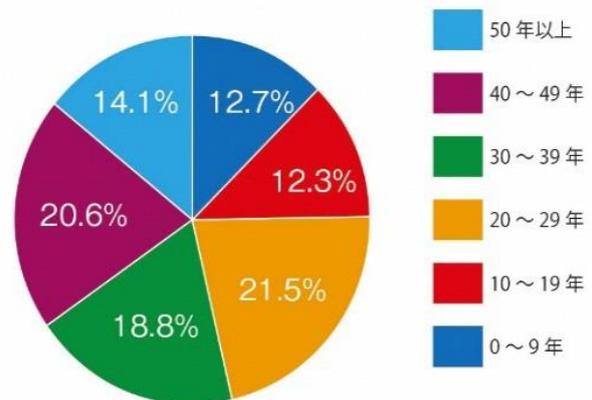
【住宅の形態・1】今のお住まいを次のように分けた場合、この中のどれにあたりますか。

回答項目	回答者数	構成比%
持ち家(一戸建)	576	90.0
持ち家(マンションなどの集合住宅)	1	0.1
賃貸住宅(一戸建)	20	3.0
賃貸住宅(マンションなどの集合住宅)	45	6.7
勤め先の給与住宅	1	0.1
その他	1	0.1
合計	644	100



【住宅の形態・2】住宅の築年数は()年)

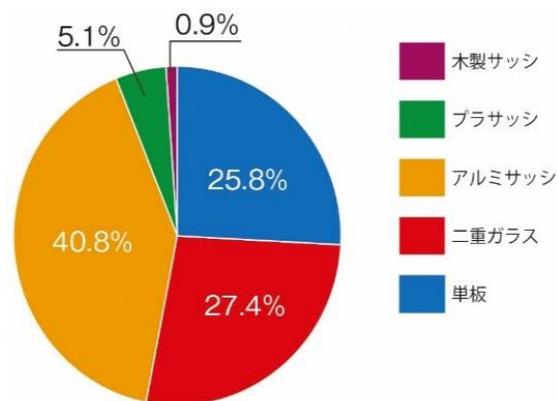
回答項目	回答者数	構成比%
0～9年	90	12.7
10～19年	87	12.3
20～29年	152	21.5
30～39年	134	18.8
40～49年	146	20.6
50年以上	100	14.1
合計	709	100



・築年数は20年以上が75%であり、リフォームなどを含めたメンテナンスが必要となる割合が高いと考えられます。

【住宅の形態・2】住宅の居間の窓ガラスは

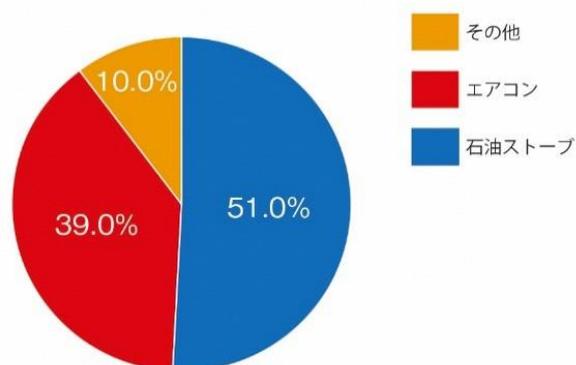
回答項目		回答者数	構成比%
窓	単板	307	25.8
	二重ガラス	325	27.4
	アルミサッシ	485	40.8
	プラサッシ	60	5.1
	木製サッシ	11	0.9
	合計	1,188	100



・窓は二重ガラスが27.4%ですが、アルミサッシの割合が比較的高いことから、アルミサッシの二重ガラスが一般化してきていると考えられます。1枚ガラスのアルミサッシ窓も25%以上と思われ、断熱性能を高める余地は多いと考えられます。

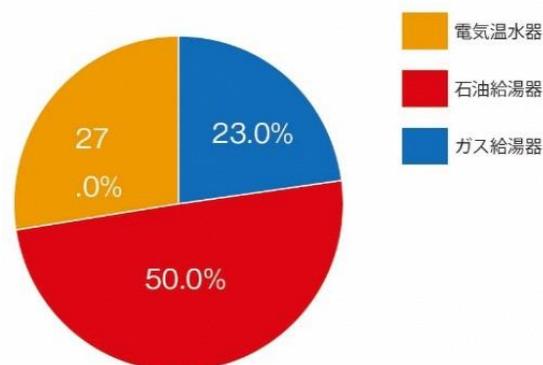
【使用している主な暖房器具】

回答項目		回答者数	構成比%
暖房器具	石油ストーブ	469	51.0
	エアコン	357	39.0
	その他	93	10.0
	合計	919	100



【使用している給湯器】

回答項目		回答者数	構成比%
給湯器	ガス給湯器	171	23.0
	石油給湯器	369	50.0
	電気温水器	202	27.0
	合計	742	100

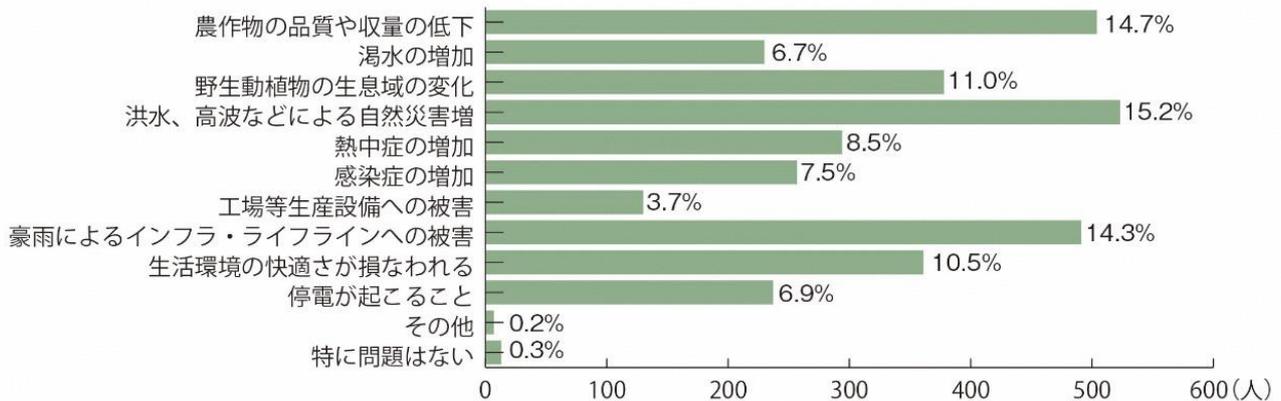


・石油ストーブが半数以上を占め、給湯器においても、5割が石油給湯器となっています。

■地球温暖化問題について

Q2. 南陽市でも、すでに地球温暖化による猛暑や豪雨などが観測されており、将来にわたって自然や人間生活に様々な影響を与えることが予測されています。あなたは、どのような影響を問題だと感じますか。(複数回答可)

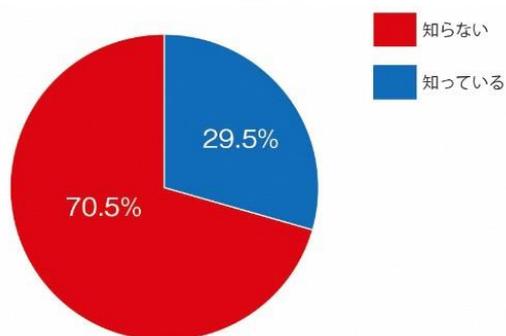
回答項目	回答者数	構成比%
農作物の品質や収量の低下	504	14.7
渇水の増加	230	6.7
野生動植物の生息域の変化	378	11.0
洪水、高波などによる自然災害増	523	15.2
熱中症の増加	294	8.5
感染症の増加	257	7.5
工場等生産設備への被害	130	3.7
豪雨によるインフラ・ライフラインへの被害	491	14.3
生活環境の快適さが損なわれる	361	10.5
停電が起ること	237	6.9
その他	7	0.2
特に問題はない	13	0.3
合計	3,425	100



- ・自然災害の増加(15.2%)や農業生産への影響(14.7%)を懸念する割合が合わせて29.9%でした。
- ・生活環境への影響とインフラ・ライフラインへの被害に対する心配などを合わせると24.8%となります。

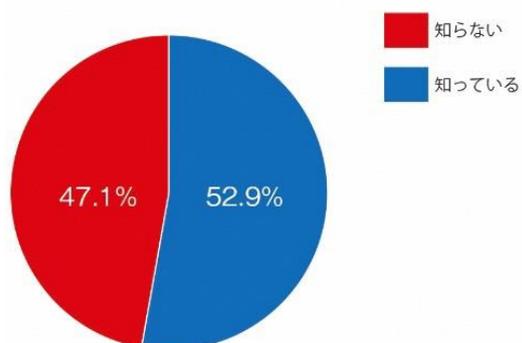
Q3.南陽市が令和2年12月23日、2050年までに二酸化炭素(CO₂)の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行ったことを知っていますか。

回答項目	回答者数	構成比%
知っている	227	29.5
知らない	541	70.5
合計	768	100



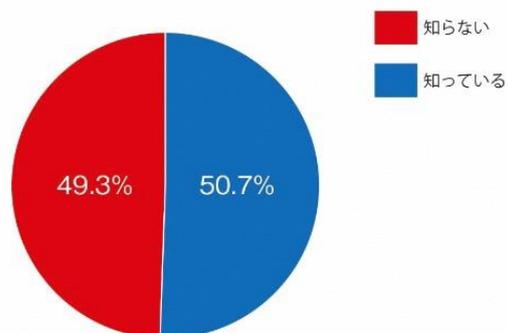
Q4.政府が令和2年10月、2050年カーボンニュートラルを宣言したことを知っていますか。

回答項目	回答者数	構成比%
知っている	408	52.9
知らない	364	47.1
合計	772	100



Q5.2050年には、人為起源のCO₂排出量をゼロにする必要があるという科学的知見が示されたことを知っていますか。

回答項目	回答者数	構成比%
知っている	392	50.7
知らない	381	49.3
合計	773	100



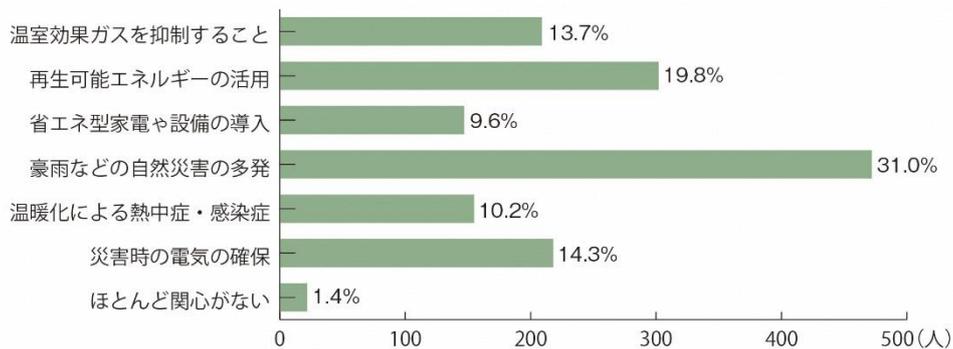
・CO₂ 排出量をゼロにする必要性を認識している割合が 50.7%と半数を超えています。

■エネルギー資源について

Q6.あなたが、現在関心のある南陽市の環境問題は何ですか。次の①～③それぞれについて、当てはまるものを2つずつお選びください。

① 地球温暖化・気候変動について

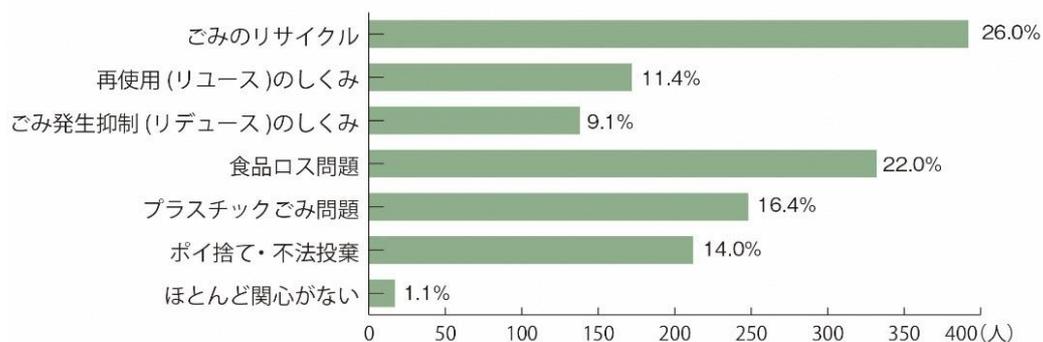
回答項目	回答者数	構成比%
温室効果ガスを抑制すること	209	13.7
再生可能エネルギーの活用	302	19.8
省エネ型家電や設備の導入	147	9.6
豪雨などの自然災害の多発	472	31.0
温暖化による熱中症・感染症	155	10.2
災害時の電気の確保	218	14.3
ほとんど関心がない	22	1.4
合計	1,525	100



・豪雨災害への関心が高く、続いて再生可能エネルギーへの関心が19.8%と続いています。温室効果ガス排出抑制への関心も13.7%となっています。

② ごみの減量・資源化について

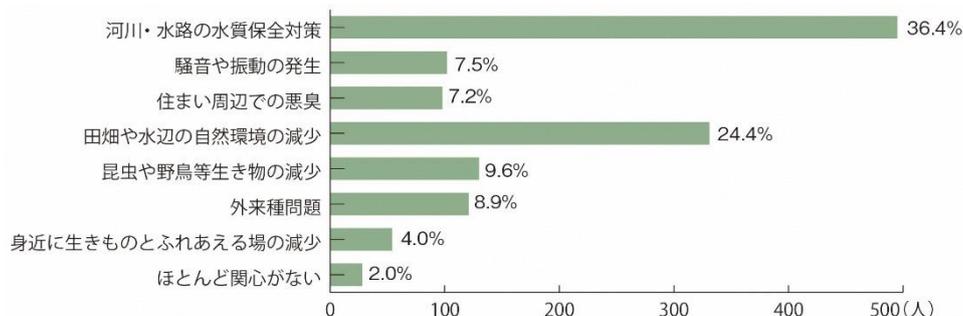
回答項目	回答者数	構成比%
ごみのリサイクル	392	26.0
再使用(リユース)のしくみ	172	11.4
ごみ発生抑制(リデュース)のしくみ	138	9.1
食品ロス問題	332	22.0
プラスチックごみ問題	248	16.4
ポイ捨て・不法投棄	212	14.0
ほとんど関心がない	17	1.1
合計	1,511	100



・ごみのリサイクルへの関心が26%、食品ロス問題においても22%、モノの使い捨てへの関心の高さが伺えます。

③ 快適な生活環境や緑・水辺の保全について

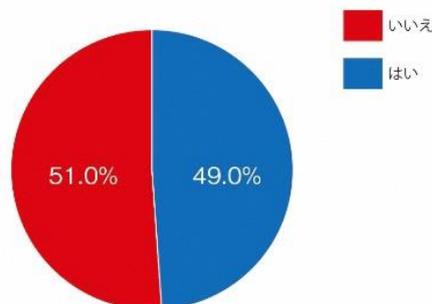
回答項目	回答者数	構成比%
河川・水路の水質保全対策	495	36.4
騒音や振動の発生	102	7.5
住まい周辺での悪臭	98	7.2
田畑や水辺の自然環境の減少	331	24.4
昆虫や野鳥等生き物の減少	130	9.6
外来種問題	121	8.9
身近に生きものとふれあえる場の減少	54	4.0
ほとんど関心がない	28	2.0
合計	1,359	100



・河川・水路の水質保全対策を含めた田畑や水辺への自然環境への関心の高さが6割を超えています。

④ 今、お住まいの住宅を建てた時、省エネ性能や断熱性能が高くなるような検討をしましたか。

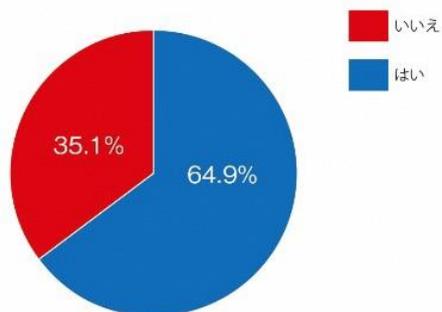
回答項目	回答者数	構成比%
はい	356	49.0
いいえ	371	51.0
合計	727	100



・若干ですが「いいえ」が上回っており、20年以上経過した持ち家が多いという事情から考えると、竣工当時に断熱性能を検証する傾向は少なかったのではないかと思います。

⑤ 今、お住まいの住宅の断熱性能が高くなるように、窓を二重にしたり、天井や壁などに断熱材を追加したりすることで暖かくなり、省エネにもなりますが、このような断熱リフォームをやりたいですか。

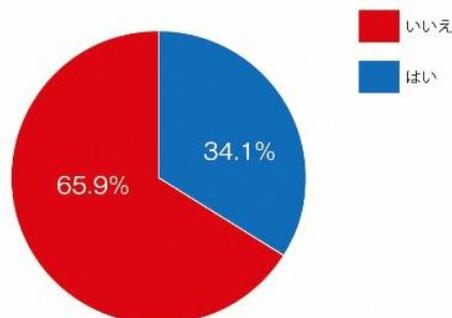
回答項目	回答者数	構成比%
はい	465	64.9
いいえ	252	35.1
合計	717	100



・「はい」が64.9%で、近年の「高断熱性重視」の傾向が反映されているものと考えられます。

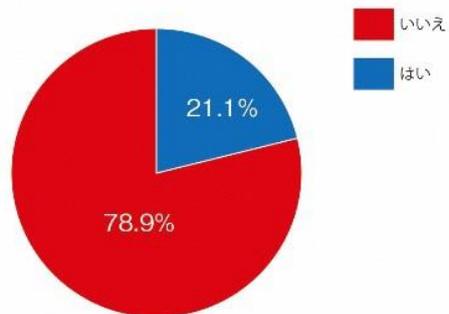
⑥ 太陽光発電に対する南陽市の補助金があることを知っていますか。

回答項目	回答者数	構成比%
はい	258	34.1
いいえ	499	65.9
合計	757	100



⑦ 薪ストーブ、ペレットストーブに対する南陽市の補助金があることを知っていますか。

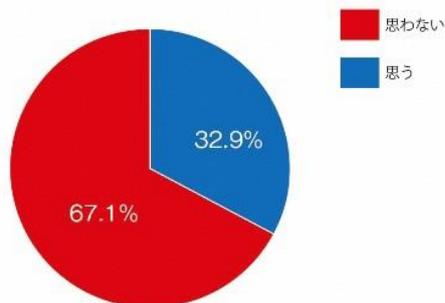
回答項目	回答者数	構成比%
はい	155	21.1
いいえ	579	78.9
合計	734	100



・多くの方は補助金制度を知らないという現状が伺えます。

⑧リースなどを利用することで、太陽光発電を初期費用なしで設置する方法がありますが、このような方法で太陽光発電を導入したいと思いますか。

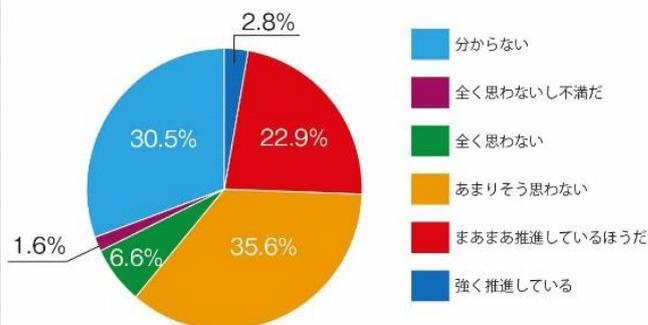
回答項目	回答者数	構成比%
思う	228	32.9
思わない	466	67.1
合計	694	100



・「思わない」が67.1%となっており、導入システムを知らないという現状が伺えます。

Q7. 南陽市は、再生可能エネルギーの利活用を推進していると思いますか。次の中から1つだけお選びください。

回答項目	回答数	構成比%
強く推進している	21	2.8
まあまあ推進しているほうだ	172	22.9
あまりそう思わない	268	35.6
全く思わない	50	6.6
全く思わないし不満だ	12	1.6
分からない	229	30.5
合計	752	100



・推進していると感じている割合が25.7%で、推進しているとは思わないと感じている割合が、分からないと答えた人を含めると74.3%となりました。

Q8. あなたは、南陽市に再生可能エネルギーが普及することによって、どのような効果を期待しますか。
(複数回答可)

回答項目	回答者数	構成比%
地球環境の保全	483	16.0
エネルギーの地産地消の実現	379	12.6
災害時の非常用電源等としての利用	450	14.9
子どもたちへの環境学習	298	9.9
再生可能エネルギーに取り組む地域としての知名度向上	162	5.4
バイオマス発電や風力発電などを見に来る観光客の増大	64	2.1
生活の利便性の向上	260	8.6
地元雇用の拡大	208	6.9
再生可能エネルギー関連産業への好影響	103	3.4
再生可能エネルギー関連産業の立地	103	3.4
安全安心なエネルギーの確保	380	12.6
市内企業の再生可能エネルギー関連産業への業態転換	105	3.5
期待できない	19	0.7
合計	3,014	100

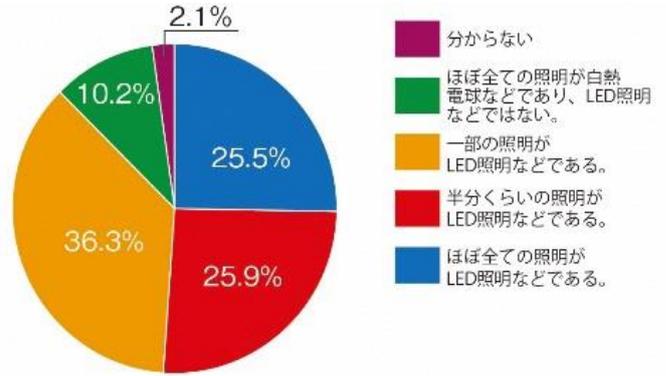


・環境保全への好影響を期待する割合が16%ですが、エネルギーの地産地消や安全安心なエネルギー確保への関心も高いことが伺えます。

■家庭で行う地球温暖化対策について

Q9. 現在、照明器具・ランプには、従来の白熱電球などのほかに、省エネ性能に優れたLED照明などがあります。あなたのお宅の照明器具・ランプについて、次の中から最も近いものを1つだけお選びください。

回答項目	回答数	構成比%
ほぼ全ての照明が、LED照明などである。	194	25.5
半分くらいの照明が、LED照明などである。	197	25.9
一部の照明が、LED照明などである。	276	36.3
ほぼ全ての照明が白熱電球などであり、LED照明などではない。	78	10.2
分からない。	16	2.1
合計	761	100

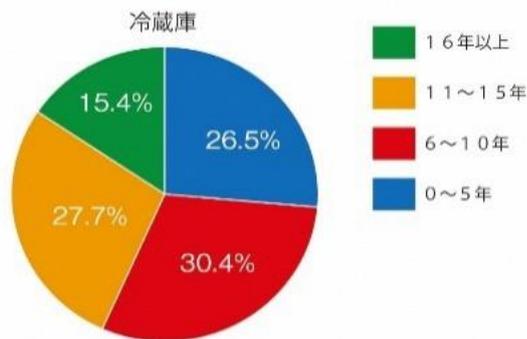


・一部がLEDとの回答も合わせると87.7%が「LED照明」を使用している現状が伺えます。

Q10. 現在使用している電化製品の使用年数を教えてください。

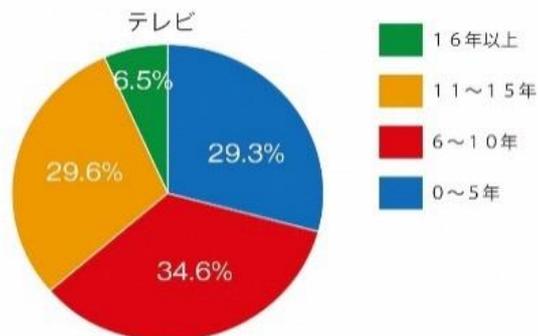
【冷蔵庫】

回答項目	回答数	構成比%
0～5年	193	26.5
6～10年	221	30.4
11～15年	202	27.7
16年以上	112	15.4
合計	728	100



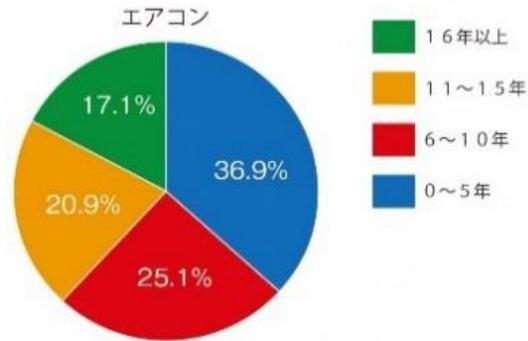
【テレビ】

回答項目	回答数	構成比%
0～5年	204	29.3
6～10年	241	34.6
11～15年	206	29.6
16年以上	46	6.5
合計	697	100



【エアコン】

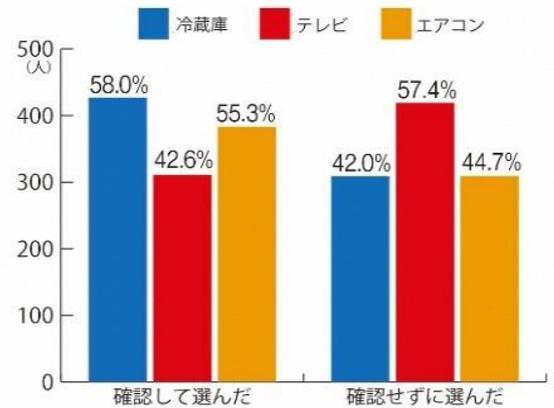
回答項目	回答数	構成比%
0～5年	251	36.9
6～10年	171	25.1
11～15年	142	20.9
16年以上	117	17.1
合計	681	100



・いずれも買換えを検討する時期にある10年から15年程度の使用年が5割前後となっていますが、エアコンは新しい割合が比較的多いことが分かります。

Q11. お使いの電化製品や家庭用品を購入した際、省エネ性能などを確認して選ばれましたか。

回答項目		回答数	構成率%
冷蔵庫	確認して選んだ	427	58.0
	確認せず選んだ	309	42.0
	合計	736	100
テレビ	確認して選んだ	311	42.6
	確認せず選んだ	419	57.4
	合計	730	100
エアコン	確認して選んだ	383	55.3
	確認せず選んだ	309	44.7
	合計	692	100



・冷蔵庫とエアコンは消費電力が大きいというイメージからか、確認して購入した割合が5割以上と比較的高く、テレビは機能性重視の傾向が高いと思われます。

Q12. あなたは、冷蔵庫・テレビ・エアコンなどの電化製品や家庭用品の買換えや新規購入に関して、省エネ効果をどのように考えますか。次の中から最も近いものを1つだけお選びください。

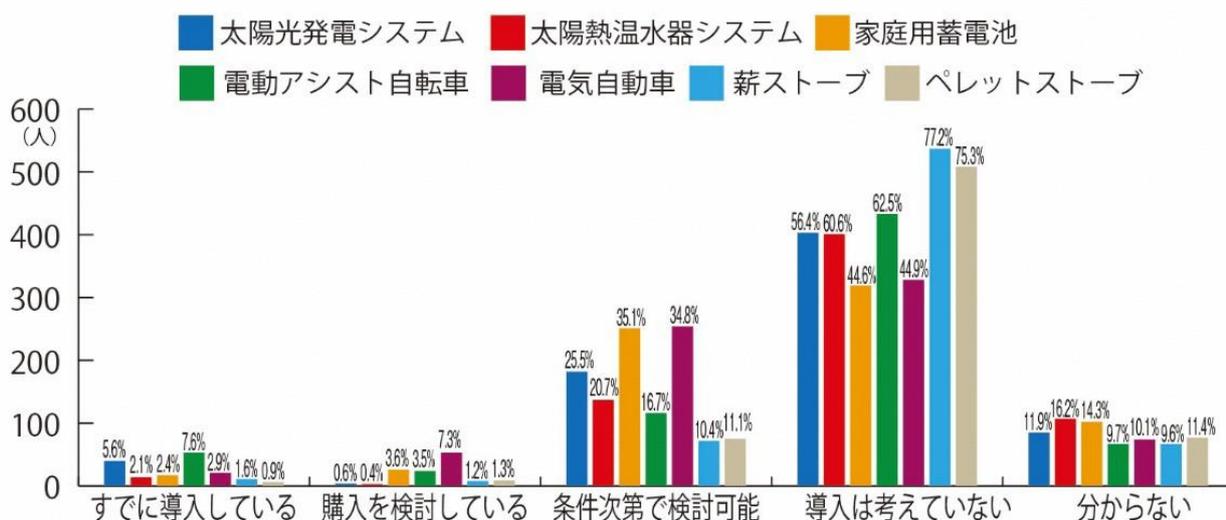
回答項目	回答数	構成比%
買換え時期を待たずに、積極的に省エネ効果の高い製品にする	19	2.6
買換えなどの際には、省エネ効果の高い製品を優先して選ぶ	579	79.9
買換えなどの際には、省エネ効果よりデザイン・機能などを優先して選ぶ	85	11.7
特にない	42	5.8
合計	725	100



・省エネ効果を求める消費行動が約 8 割と高くなっています。

Q13. あなたのご家庭では、次に示すエネルギー等の導入について、どのように考えますか。それぞれについて、表の右の当てはまる欄を1つお選びいただき、○をつけてください。

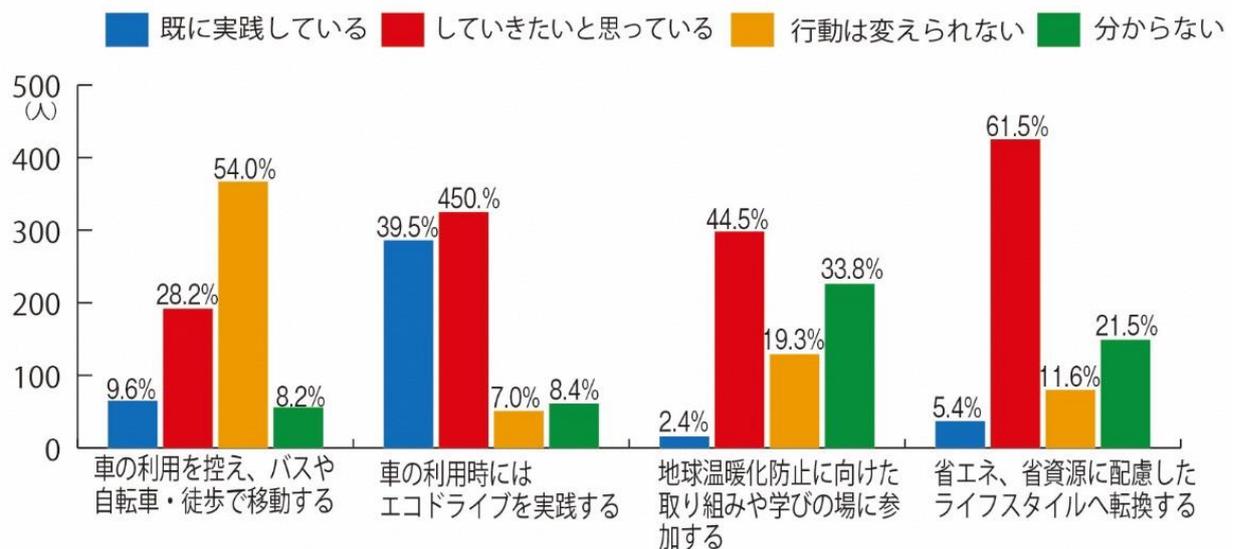
エネルギー等	既に導入している	導入を検討している	条件次第で検討可能	導入は考えていない	分からない	合計
太陽光発電システム	40	4	182	403	85	714
太陽熱温水器システム	14	3	137	401	107	662
家庭用蓄電池	17	26	251	319	102	715
電動アシスト自転車	53	24	116	433	67	693
電気自動車	21	53	254	328	74	730
薪ストーブ	11	8	72	537	67	695
ペレットストーブ	6	9	75	508	77	675



- ・薪ストーブ・ペレットストーブなどは、導入を考えていない割合が高いことがわかります。
- ・4割から6割の方が導入は考えていないものの、条件次第で検討するとの答えが2割から3割となっており、具体的な条件を調査する必要があると考えられます。

Q14. あなたは、次に示す行動について、どのように考えますか。それぞれについて、表の右の当てはまる欄を1つお選びいただき、○をつけてください。

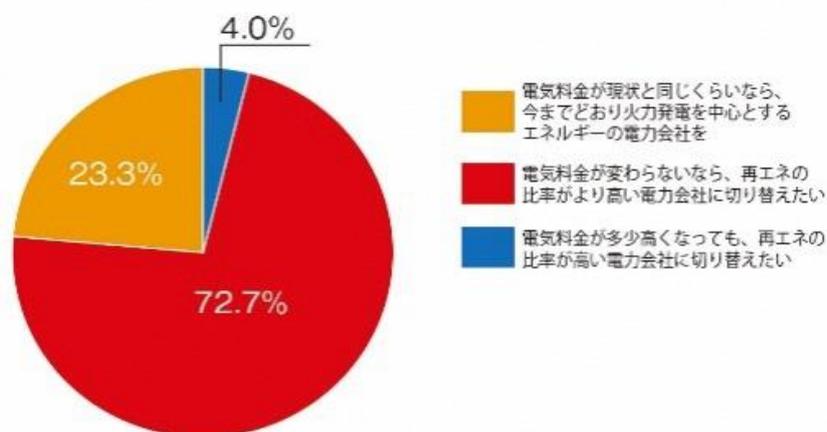
行動	既実践している	していきたいと思っている	行動は変えられない	分からない	合計
車の利用を控え、バスや自転車・徒歩で移動する	65	192	367	56	680
車の利用時にはエコドライブを実践する	286	325	51	61	723
地球温暖化防止に向けた取り組みや学びの場に参加する	16	298	129	226	669
省エネ、省資源に配慮したライフスタイルへ転換する	37	425	80	149	691



・「車の利用を控え公共交通や自転車・徒歩での移動」の実践については、実際の行動変容には至っていませんが、比較的取り組みやすい「エコドライブ」、「学びに参加」、「ライフスタイルの変容」に関しては、実践したいという傾向が強いことが伺えます。

Q15. あなたは、電気の供給をうける電力会社を自由に選択することができますが、どのような電力会社を利用したいと思いますか。次の中から最も近いものを1つだけお選びください。

回答項目	回答数	構成比%
電気料金が多少高くなっても、再エネの比率が高い電力会社に切り替えたい	29	4.0
電気料金が変わらないなら、再エネの比率がより高い電力会社に切り替えたい	529	72.7
電気料金が現状と同じくらいなら、今までどおり火力発電を中心とするエネルギーの電力会社を利用する	170	23.3
合計	728	100



・電気料金が現状と「変わらないなら」という条件付きながら、高くなってもよいかからという意向と合わせると、再エネ比率が高い電力会社に切り替えたいという傾向が76.7%と高いことが分かります。

Q16. あなたが南陽市に求める、環境やエネルギーのための施策等についてご意見やご要望などありましたら自由に記述してください。

- ・10代～20代から3件、30代～40代から24件、50代～60代から26件、70代以上から46件、合計99件の意見・要望等が寄せられました。
- ・世代による意見・要望内容に大きな違いはありませんが、「啓発・周知事業などへの要望」、「事業・施策などへの要望」に大別されました。

南陽市市民アンケート・意見要望

(10～20代)

【事業・施策等への意見・要望】

- 未来のためにも、今から出来る事から始めて頂きたいと思います。
- 太陽光発電や蓄電池の補助金額を増やして欲しい。
- 再生エネルギー事業を増やして欲しい。

(30～40代)

【啓発・周知事業等への意見・要望】

- 今回のこのアンケートによって初めて知ったこともあるので、もっともっと知れる機会を増やして頂ければ有難い。
- まだまだ知らない事がたくさんあるのでイベントなど開催してほしい。
- 南陽市が環境に関する活動を行っている事は全く知りませんでした。
今回、このアンケートで初めて知り驚いています。環境問題を見直すきっかけにしたいです。
- 個人ではなかなか関心を持つ時間がないので、会社など企業単位で他の人と一緒にその様な時間が持てれば少しは関心を持ったり話題として考えられるような気がする。
- もっと目に見えるような活動をして欲しい。
- 高校教員で、校内で探求学習を推進・統括しています。生徒に対し環境・エネルギーに関する講演会・カンファレンス・学習会等があれば参加させていきたいと考えています。
- 市報などで分かりやすく啓発運動をして欲しいです。
- 南陽市が今環境のためにこれをやっている！というのを市報に毎月載せてほしい。

【事業・施策等への意見・要望】

- 再生可能エネルギー業者、会社の誘致雇用を増やし人口増。
- お金があるなら環境エネルギーにすぐにでも変えたいが、無いから変えられない。皆そう、市町村でいくらがんばっても、エネルギー導入には、各家庭にはお金の問題一番のしかかってくる、それ現実だね。
- このアンケート必要か？ ペーパーレス、経費削減に反していないか？
- ゴミのポイ捨てに関する事。ポイ捨てした人には何らかのペナルティーを強く要望する。
- 植林、花いっぱい運動、車を控えるための環境整備。

- スマホの電磁波なども体に影響を与えているという話だが、子供から使っていてどういうものなのか？
- 子供も一緒に参加できるものがあれば…と思います。
- ごみ回収の頻度を増やしてほしい。
- 回覧板をなくしてほしい(紙から電子へ。QR コードから見られればよいと思います。)
- 太陽光の蓄電池の補助金を出してほしい。
- 取り組むなら象徴となる施策を実施してもらいたい。例えば「再生可能エネルギー50%の街」や「生ゴミの循環80%の街」を表明した大胆な施策展開。
- 苗木などのプレゼント企画を増やして市全体が緑になってもっと森林が増えると環境も良くなるのではないのでしょうか。
- 太陽光発電などのエコエネルギーが増えても蓄電池で発電ができない時の蓄えが無いと意味がないので蓄電技術の開発にシフトしてほしい。
- 電気ウナギを用いた発電。
- Q13に掲げているシステムを使用した住宅の紹介やイベントで体験できる場を企業ではなく市で紹介するなどしてはどうか。南陽市ならではの地元密着型でもいいので都会にはない地元感を出すことも南陽市の特色、強みにするのも魅力的な市になると思う。
- 環境に係る会社を増やしてほしい。

(50～60代)

【啓発・周知事業等への意見・要望】

- 身近な話題になるように情報をもっと発信してほしい。
- アンケートの質問が難しい。
- 環境に係るイベントの実施による啓発活動をもっと増やして欲しい。
ゼロカーボンシティ宣言がどうのこうのより、市民に対して、全てにおいて発信力がなさすぎる。市の一人よがりにはかみえない。
- マイクロプラスチックの問題を単純に「レジ袋」に押し付けるのはやめてもらいたい。
日本の政府のやり方は国民を無知と決めつけての上に成り立っており、それに右ならえするようなら、一切期待はできないと思う。皆肩を並べて全市町村「五十歩百歩」ならできないと思う。
- 南陽市が「ゼロカーボンシティ宣言」を行なった事を広く市民に知らせる活動をしてほしい。市民一人ひとりがどのように生活をするのが、あてはまるのか具体的に知らせる活動をしてほしい。
- 情報を多く発信し、市民の理解を更に深めるようにしてもらいたい。
- 再生可能エネルギーの施策などのことはわからないので、もっとわかりやすく教えてもらいたい。
- 取組み内容とその成果、それを踏まえた今後の方針、目標など一連の流れの更なる周知による意欲の醸成を図る。
- すぐに実践できるような省エネの方法をお知らせください。
- 補助金についても知らない、もっとアピールをお願いします。電気自動車の充電スポットがないのは問題だと思う。
- 環境に係るイベントの実施による啓発活動をもっと増やして欲しい。
- 子供に向けた環境学習の推進をしてほしい。

【事業・施策等への意見・要望】

- イベントや皆が活動できる様増してほしい。南陽市は少ない。
- ゼロカーボンシティ宣言を行なったということですが具体的にどのようにするのかを発信してほしい。
- バイオマスをやるべき。
- 助成金をアップしていただければと思います。
- 児童・生徒への環境教育の充実。イベントを含む。
- エネルギーの問題は大切だと思うが、年金生活の老人世帯が出来るような施策あるか、補助も含めて考えてほしい。
- 南陽市に現存している森林を利用し、幼子世代から里山暮らしの素晴らしさ大切さを体験できる森林施設(飯豊少年自然の家のような)の創設し、自然エネルギー体験をし、育む。
- 南陽市に活気がない。温泉、ハングラライダーと魅力のものがたくさんあるのになぜ？
鳥上坂を通ると素晴らしい風景が目に入る。素晴らしいのに雑草や大木で見えないのは残念だ。そうゆうところから始めてみたらと感じる。コスモスを植えたこともあったが、続かない。
- お湯(温泉)地熱を利用した、融雪出来ないか？
- 公共、公立の施設などの節電が手本となるよう、また子供たちが集まって遊べる場所が各地区にあったらと思います。
- 電気関係の専門分野の事については、専門の方が頑張って勉強や研究して欲しい。他分野については、考える時間がないので。
- きれいで住みよい環境作りをしてほしいと思います。子供達や若者が住みやすい環境作りをして下さることを願っています。
- 浄化槽点検はなぜ業者と市の2度点検が必要なのか？二度手間では。しかも、それに伴う経費も個人負担。業者だけでは信用がないのでしょうか？

(70代以上)

【啓発・周知事業等への意見・要望】

- 環境に係るイベントの実施による啓発活動をもっと増やして欲しい。
- イベントの実施があれば参加したい。
- 家庭だけでなく、会社、商店、交通等への啓発をもっと強力に進めてほしい。
- 太陽光発電など補助金制度のある事をもっとピーアールしてほしい。
- 市報等にPR等を時折のせてほしい。
- 市報で特集号でもくんで宣伝しては。
- 啓発活動を増やして欲しい。
- 市民に対して説明不足(全体的に)。
- 70才を過ぎれば自分の事ばかり考えてしまいましたが、省エネ、省資源のことも考えほんの少しでもやっっていこうと思う。
- 啓発活動は必要であるが、ある年代まではどう方策するか、年齢が高い程電気、水を省エネしているが色々な省エネ導入する為には経済面での不安があり出来ない。

- アンケート結果の公表をすべき。
- 町内ごとにある防災会議を利用し、市民に発信すべき。
- 原年齢が若かったならと思っても残念にも思います。
- 若い世代への啓発。
- もっとわかりやすく発信してもらいたい。
- 市報、今回のアンケート文書、その他発行する文書の内容を読むと専門用語が多く一般市民には理解できかねる場合があります。提案ですが、注釈欄を設けて頂ければ幸いです。
- ソーラーがついているのですが、何だか別に得をしているような気がしないのですが、その辺の説明をしてほしいです。
- 南陽市報及び PR 不足、市民に対し何もやっていないと同じ。市長、議員ほんとにやる気あるのか？

【事業・施策等への意見・要望】

- 市民としてムダを無くそうと少しずつ行動しております。
市関係者の方々もムダなこと、ムダな時間等改善頂ければと思っています。
- 市では、環境に対する補助項目をピーアールして下さい。
- 使用済の天ぷら油をペットボトルに入れ、それを再利用して石鹼に作り変えて欲しい。
- Q4 でバスや自転車で移動する、とありますが山形、米沢等近隣の町へはバスを利用して移動できるように要望します。
- 環境に係るイベントの実施による啓発活動をもっと増やして欲しい。
- 太陽光パネルが 10 年後にゴースタウンにならないか心配。太陽光が増えた場合本当に電力を安定的に供給できるのか心配。周波数、電圧。
- 森林の整備活動、伐採した木材の利用教室(子供向け)。
- 温泉廃油の利用、特に冬の消雪に側溝を活用して道路(特に通学路)を確保する。道幅が狭くなり、出会い頭の衝突が危惧される。ブルドーザーによる道路のひび割れ、白線等の消滅が軽減する。
- 空き家、放棄地等の対策。
- 太陽光発電パネルが自然環境を破壊しないように設置してほしい。
- 里山の手入れ。最近雪折れに依る倒木など、山の様子が荒れているように思える。
- 太陽光発電、10 年以後 8 円では出来ない。
- 安定的なエネルギー供給継続。
- 新築家屋には太陽光パネルの取付義務化を条例化する等して推進する。環境整備のための市民活動推進と実行。
- 関連等の大学校設立を希望する。そこから始まる将来の出来高(果樹農園も含む)。
- 東京オリンピックの時、130 万食が廃棄されたとニュースであった。又、ボランティアの弁当 40 万食が廃棄された。日本は何も考えていない。
- 温泉の廃熱利用や地熱利用による融雪を進めるべき。
- 老人がすみやすい社会。
- 環境にやさしいエネルギーに切り替えて欲しい。
- 太陽光発電所の設備箇所は。豊かな自然環境を壊さないように設置してほしい。

- 河川の一部を、草刈り伐採をしないで小動物が住める場所が必要と思う。
- カーボンニュートラル、太陽光発電、電気自動車、突き詰めれば火力か原子力にたよる事にならないか。一方で脱原発と言っても絶対量を抑制しなければ絵に描いた餅。
- 無理とは思いますが、排ガスを少なくするに全家用車は1,000CC以下の車にすれば排ガスが少なくなると考えます。飛行機もあんなに飛ばす事はないと思います。
- 市民文化会館を利用し防災と関連したイベントを。市民から前もってどの様な事について聞きたいのか？をアンケートする。
- 関連企業を多く立地、呼び込む。
- 高齢家族で「家じまい」検討中、前向きでない解答でお役に立たないようで申し訳なく思います。
- 太陽光発電等が増えると個人の電気料に加算されているのが不満です。
- 家庭内から出るゴミ、廃棄物等の無料化を願います。有料にするから山や川等に捨てるようになると思います。

(原文のまま)

資料編4

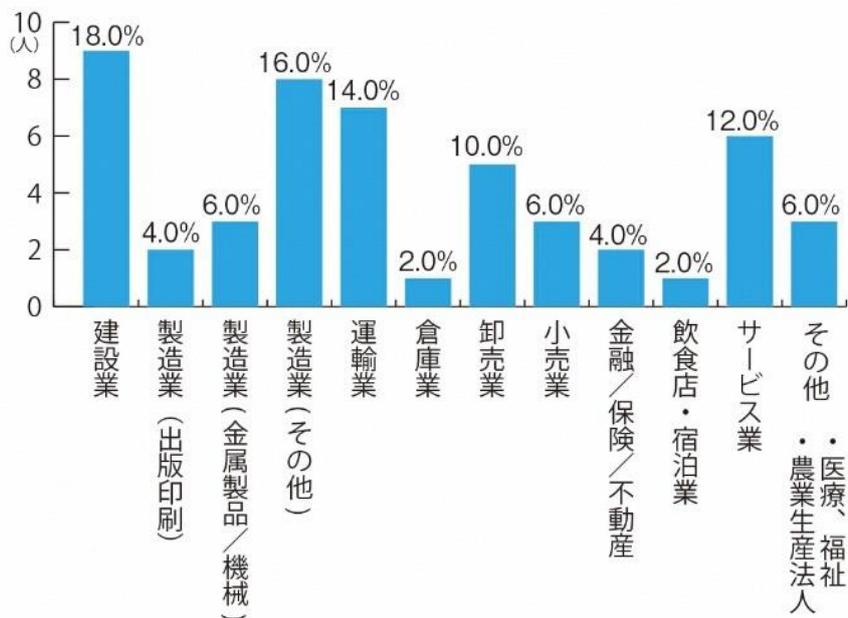
事業者アンケート調査結果

■属性(基本情報について)

Q1. はじめに、貴事業所のことについて教えてください。

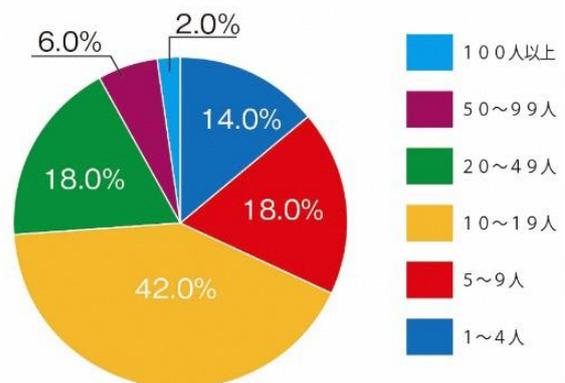
【業種】

回答項目	回答数	構成比%	回答項目	回答数	構成比%
建設業	9	18	卸売業	5	10
製造業(出版印刷)	2	4	小売業	3	6
製造業(金属製品/機械)	3	6	金融/保険/不動産	2	4
製造業(その他)	8	16	飲食店・宿泊業	1	3
運輸業	7	14	サービス業	6	12
倉庫業	1	2	その他(医療、福祉、農業法人)	3	6



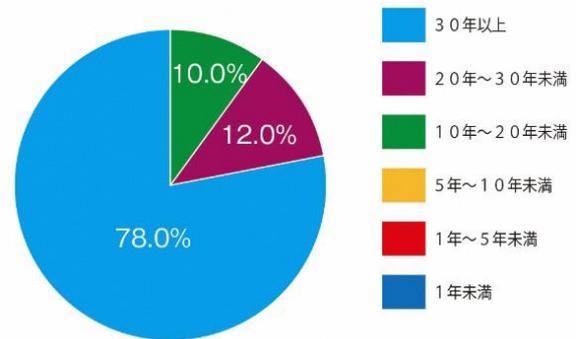
【従業員数】

回答項目	回答数	構成比%
1~4人	7	14.0
5~9人	9	18.0
10~19人	21	42.0
20~49人	9	18.0
50~99人	3	6.0
100人以上	1	2.0
合計	50	100



【市内での営業年数】

回答項目	回答数	構成比%
1年未満	0	0
1年～5年未満	0	0
5年～10年未満	0	0
10年～20年未満	5	10.0
20年～30年未満	6	12.0
30年以上	39	78.0
合計	50	100



■事業活動を行っていく上で関心が高い環境問題について

Q2. 次の①～④について、事業活動に密接に関連し関心の高い項目に当てはまるものをそれぞれ2つまでお選びください。

① 地球温暖化・気候変動について

回答項目	回答数	構成比%
温室効果ガス排出量削減	7	7.8
再生可能エネルギーの活用	8	8.9
省エネルギー型設備の導入	15	16.7
豪雨などの自然災害の多発	31	34.4
気温上昇に伴う暑熱問題	13	14.4
災害時の電力等エネルギー確保	16	17.8
合計	90	100



・豪雨などの自然災害への関心の高さが伺えます。

② ごみの減量・資源化について

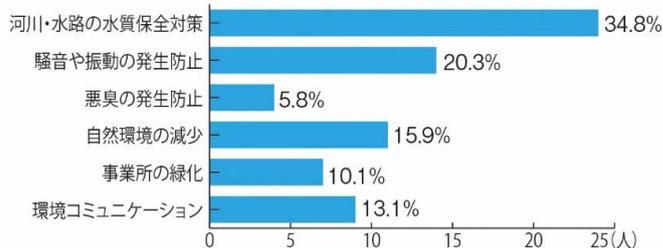
回答項目	回答数	構成比%
事業ごみの減量	26	30.2
事業ごみのリサイクル	26	30.2
使用済製品活用等のリユース	3	3.5
プラスチックごみ問題	11	12.8
食品ロス問題	11	12.8
ポイ捨て・散乱ごみ問題	9	10.5
合計	86	100



・事業系のごみ対策(削減・リサイクル)への関心が合計で 60.4%という高さで示されました。

③ 緑・水辺・快適な生活環境関連

回答項目	回答数	構成比%
河川・水路の水質保全対策	24	34.8
騒音や振動の発生防止	14	20.3
悪臭の発生防止	4	5.8
自然環境の減少	11	15.9
事業所の緑化	7	10.1
環境コミュニケーション	9	13.1
合計	69	100



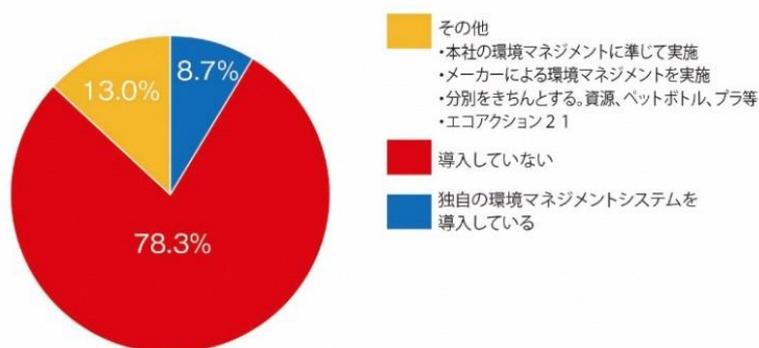
・河川などの水質保全対策や騒音・振動への対策といった、事業活動がもたらすと思われる環境負荷対策への関心が55%を超えるという結果になりました。

④ 上記の他に関心が高い環境問題(記述)

- ・発電事業
- ・ポイ捨て、散乱ごみ
- ・洪水対策として河川支流の整備

■貴事業所における環境マネジメントシステムなどの導入状況について
 Q3. 貴事業所に該当する内容がありましたら、○をつけてください。

回答項目	回答数	構成比%
独自の環境マネジメントシステムを導入している	4	8.7
導入していない	36	78.3
その他 ・本社の環境マネジメントに準じて実施 ・メーカーによる環境マネジメントを実施 ・分別をきちんとする。資源、ペットボトル、プラ等 ・エコアクション21	6	13.0
合計	46	100



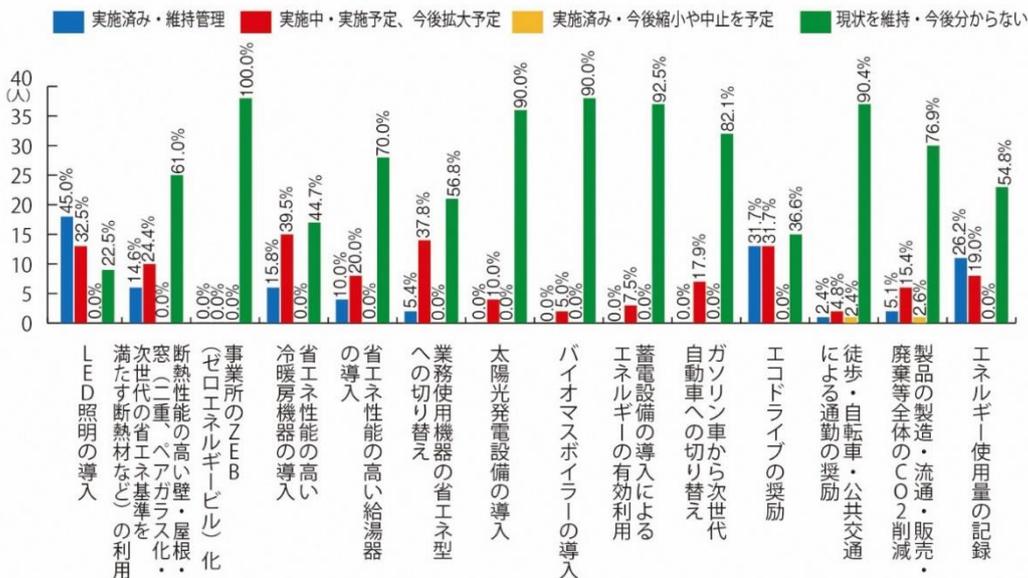
・未導入が78.3%ですが、社外のマネジメント処方の導入と合わせ独自のマネジメントシステムを導入している事業所が21.7%あります。

■地球温暖化に関する設備等の取り組み状況と今後の取り組み意向について

Q4. 次の①～③に示すそれぞれの項目について、表の右の当てはまる欄を1つお選びいただき、○をつけてください。

① エネルギーの有効利用に向けて

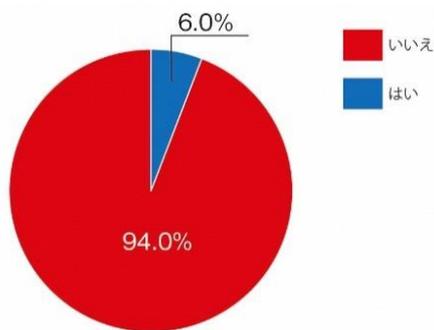
	実施済み 維持管理	実施中 実施予定 今後拡大 予定	実施済み 今後、縮 小や中止 を予定	現状を維 持今後、分 からない	合計
LED照明の導入	18	13	0	9	40
断熱性能の高い壁・屋根・窓(二重、ペアガラス化・次世代の省エネ基準を満たす断熱材など)の利用	6	10	0	25	41
事業所の ZEB(ゼロエネルギービル)化	0	0	0	38	38
省エネ性能の高い冷暖房機器の導入	6	15	0	17	38
省エネ性能の高い給湯器の導入	4	8	0	28	40
業務使用機器の省エネ型への切り替え	2	14	0	21	37
太陽光発電設備の導入	0	4	0	36	40
バイオマスボイラーの導入	0	2	0	38	40
蓄電設備の導入によるエネルギーの有効活用	0	3	0	37	40
ガソリン車から次世代自動車への切り替え	0	7	0	32	39
エコドライブの奨励	13	13	0	15	41
徒歩・自転車・公共交通による通勤の奨励	1	2	1	37	41
製品の製造・流通・販売・廃棄等全体のCO ₂ 削減	2	6	1	30	39
エネルギー使用量の記録	11	8	0	23	42



・LED 照明機器の導入状況は77.5%と高いものの、断熱性能を高める建屋本体の改修課題は61%が現状を維持との回答でした。
 ・省エネ機器導入については、冷暖房機器の導入以外は導入には消極的という傾向がうかがえます。

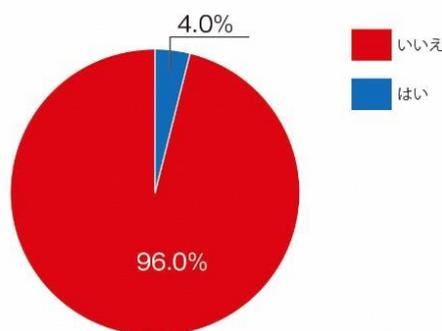
② 貴事業所ではエネルギー消費の削減目標を定めていますか。

回答項目	回答数	構成比%
はい	3	6.0
いいえ	47	94.0
合計	50	100



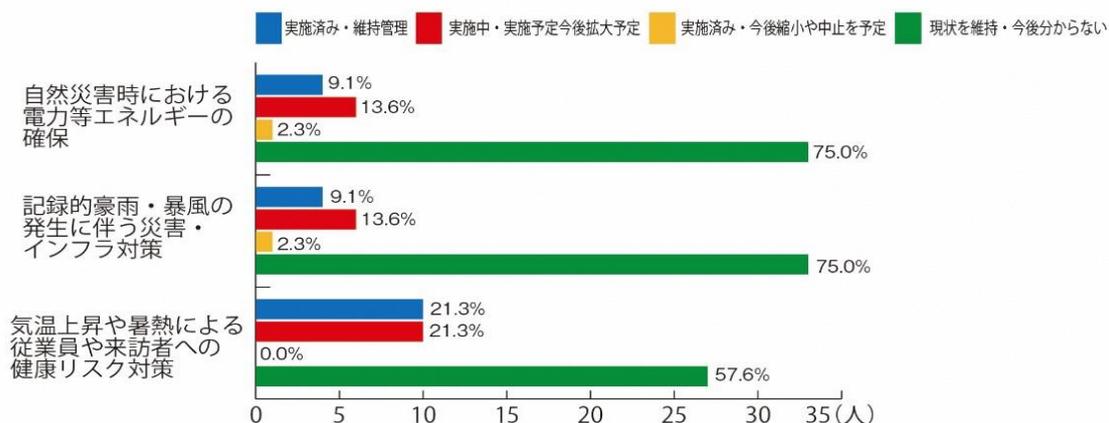
③ 貴事業所ではCO₂の削減目標を定めていますか。

回答項目	回答数	構成比%
はい	2	4.0
いいえ	48	96.0
合計	50	100



④ 気候変動の影響への対策について

	実施済み 維持管理	実施中 実施予定 今後拡大 予定	実施済み 今後、縮 小や中止 を予定	現状を維 持今後、分 からない	合計
自然災害時における電力等エネルギーの確保	4	6	1	33	44
記録的豪雨・暴風の発生に伴う災害・インフラ対策	4	6	1	33	44
気温上昇や暑熱による従業員や来訪者への健康リスク対策	10	10	0	27	47

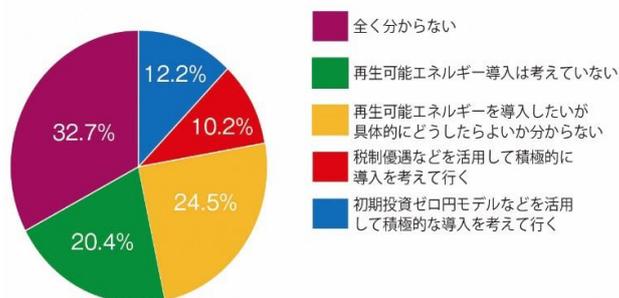


・豪雨をはじめとする自然災害時への対策や対応については、「実施」あるいは「実施予定」の割合が22%余りですが、対策は無く現状維持が75%となりました。ただし、従業員など人への影響対策は、42.6%が実施済み・実施予定とあり、人への影響対策に関心があることが考えられます。

⑤ 上記の他に、導入している主要な取り組み(記述)・・・記述はありませんでした。

Q5. 再生可能エネルギー（特に太陽光発電の自家発電）の利活用について、次の中から1つお選びください。

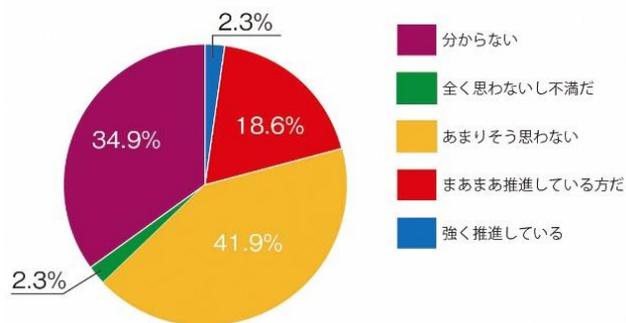
回答項目	回答数	構成比%
初期投資ゼロ円モデルなどを利用して積極的な導入を考えて行く	6	12.2
税制優遇などを利用して積極的に導入を考えて行く	5	10.2
再生可能エネルギーを導入したいが具体的にどうしたらよいか分からない	12	24.5
再生可能エネルギー導入は考えていない	10	20.4
全く分からない	16	32.7
合計	49	100



・具体的な内容について、周知不足であることが理由と考えられますが、「全く分からない」も含めて、検討されていない割合が77.6%となりました。

Q6. 南陽市は再生可能エネルギーの利活用を推進していると思いますか。次の中から1つお選びください。

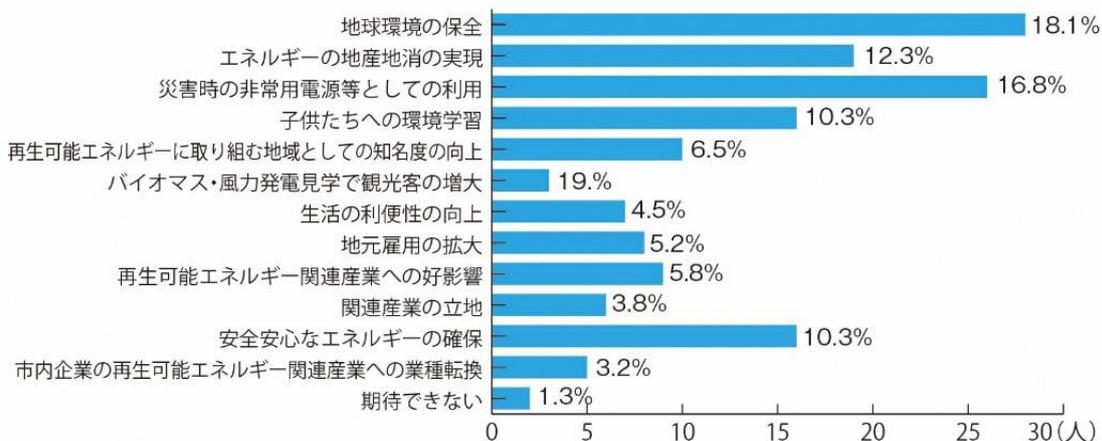
回答項目	回答数	構成比%
強く推進している	1	2.3
まあまあ推進している方だ	8	18.6
あまりそう思わない	18	41.9
全く思わないし不満だ	1	2.3
分からない	15	34.9
合計	43	100



・「わからない」を含めて、推進していると思わないという回答が79.1%と結果となりました。

Q7. 南陽市に再生可能エネルギーが普及することによって、地域にどのような効果を期待しますか。
 (複数回答可)

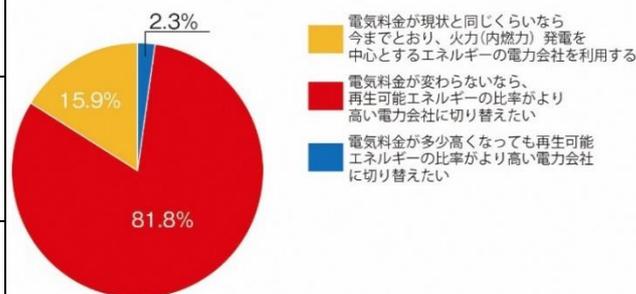
回答項目	回答数	構成比%
地球環境の保全	28	18.1
エネルギーの地産地消の実現	19	12.3
災害時の非常用電源としての利用	26	16.8
子どもたちへの環境学習	16	10.3
再生可能エネルギーに取り組む地域としての知名度の向上	10	6.5
バイオマス発電や風力発電などを見に来る観光客の増大	3	1.9
生活の利便性の向上	7	4.5
地元雇用の拡大	8	5.2
再生可能エネルギー関連産業への好影響	9	5.8
関連企業の立地	6	3.8
安全安心なエネルギーの確保	16	10.3
市内企業の再生可能エネルギー関連産業への業態転換	5	3.2
期待できない	2	1.3
合計	155	100



- ・災害時におけるエネルギーの確保効果への期待が、地産地消への期待と合わせて39.4%でした。
- ・子どもたちへの環境学習への効果への期待は10%と低いかと思われます。

Q8. 貴事業所で電気の供給をうける電力会社を自由に選択することができたら、どのような電力会社を利用したいと思いますか。次の中から最も近いものを1つだけお選びください。

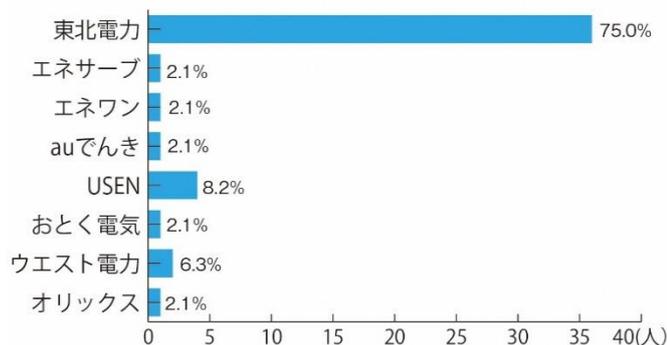
回答項目	回答数	構成比%
電気料金が多少高くなっても再生可能エネルギーの比率がより高い電力会社に切り替えたい	1	2.3
電気料金が変わらないなら、再生可能エネルギーの比率がより高い電力会社に切り替えたい	36	81.8
電気料金が現状と同じくらいなら今までとおり、火力(内燃力)発電を中心とするエネルギーの電力会社を利用する	7	15.9
合計	44	100



・電気料金が現状と「変わらないなら」という条件付きながら、高くなってもよいからという意向と合わせると、再エネ比率が高い電力会社に切り替えたいという傾向が84.1%と高いことがわかります。

Q9. 貴事業所で契約している電力会社および契約形態をご回答下さい。

回答項目	回答数	構成比%
東北電力	36	75.0
エネサーブ	1	2.1
エネワン	1	2.1
auでんき	1	2.1
USEN	4	8.2
おとく電気	1	2.1
ウエスト電力	3	6.3
オリックス	1	2.1
合計	48	100



・東北電力の割合が高いという結果でしたが、新電力への切り替えも増える傾向にあると考えられます。

Q10. 貴事業所では電力会社の変更を検討したことはありますか。

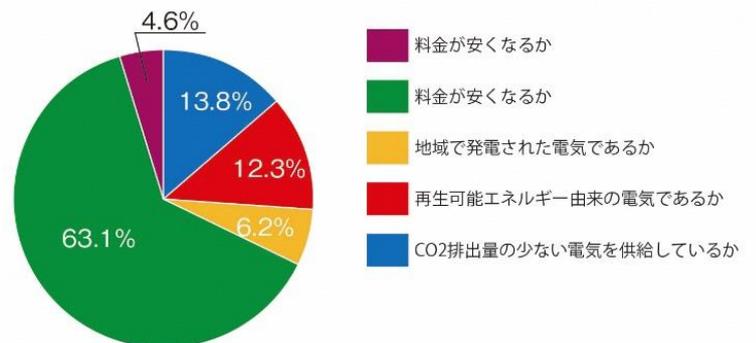
回答項目	回答数	構成比%
変更した	14	33.3
変更を検討している	2	4.8
変更を検討したが変更していない	5	11.9
検討していない	21	50.0
合計	42	100



・「変更した」「検討している」「検討した」を合わせると「検討していない」と同じ50%となりました。

Q11. 電力会社の検討にあたり重視することはなんですか。(複数選択可)

回答項目	回答数	構成比%
CO2 排出量の少ない電気を供給しているか	9	13.8
再生可能エネルギー由来の電気であるか	8	12.3
地域で発電された電気であるか	4	6.2
料金が安くなるか	41	63.1
その他	3	4.6
合計	65	100



・ゼロカーボンを意識する割合が26.1%ですが、事業コストに直接的に関係する「電気料金」対策が63.1%を占めており、コスト対策重視という傾向がみられます。

Q12. 本市が環境負荷の少ないまちづくりを進めていくうえで、貴事業所のご意見やご提案などがありましたら、自由に記述してください。

○ 再生可能エネルギー施策をもっと取り入れるべき。